

QI	緩和ケアチーム介入件数
分子	入院・外来における新規介入患者数および述べ介入件数
分母	—
根拠	緩和ケア業務は「がん診療拠点病院等の整備指針」（平成30年7月厚労省発令）において、集学的治療に加えて「がん医療の均てん化」に重要な役割を担うことが明記されている。業務内容は入院・外来における緩和ケアの提供、院内外の研究・研修会や一般対象の勉強会・市民公開講座の開催、地域医療連携における緩和ケアネットワーク構築等、多岐にわたる。これらのうち、各診療科を横断的に行う緩和ケアの介入数は可視化でき、緩和ケアチームの活動状況の指標として有用である。
目標	50人以上。 地域がん診療連携拠点病院の指定要件である「緩和ケアチームの新規介入患者数年間50人以上」を最低目標値とし、入院・外来における新規介入患者数および述べ介入件数のアップを図る。

